

令和2年度 理科

教科	理科	科目	地学	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「地学」 (啓林館)						
副教材等	センサー地学 (啓林館) 地学図録 (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・学習を通じて科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探求する能力と態度を育てるために、毎時間の授業で、常に目的意識を持って受けることが望ましい。
- ・授業の中だけでなく、日常生活の中の様々な場面で、知識を活用する力や新しい見方を得ることにより、豊かな考え方、感じ方を身につける。

2 学習の到達目標

科学的な自然観や倫理観を養い、生徒の意欲を喚起し、科学的に探求する能力と態度を育てることにより、知識の習得に終わらず、知識を活用し自ら考える力をつけることを目標とする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	われわれの身の回り にある自然現象に興 味や関心を持ち、また それらから環境に関 しても考えようとする 態度を身につけて いる。	科学的に関する与え られた課題をこなす だけでなく、自ら課題 を見だし、解決を目 指し思考を深め、適切 に判断し、工夫する能 力を見につける。	実習に関する器具を きちんと取り扱うこ とが出来、実習で得 られる様々な現象を 見逃さない観察力を 見につけている。	身の回りにある自然 現象や出来事、また 地球上の環境問題や 災害に関する知識を 総合的に見につけて いる。
評 価 方 法	・授業に向かう姿勢 ・内容に関する関心 ・提出物の状況 ・自己評価	・課題解決学習 ・学習取り組みレポー ト ・提出物	・実習器具などの取 り扱い ・グループワークの 取り組み ・実習結果のまとめ のプリント	・定期考査 ・小テスト ・提出物

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習項目	評価のポイント	評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
				a	b	c	d		
4月	地球の変化と地層	<ul style="list-style-type: none"> ・地表の変化と堆積物 ・地層の連続とその分布 ・地質構造と変成岩 ・地質時代の組み立て 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に真面目に取り組んでいるか。・レポートを丁寧に仕上げているか ・地質図を読み取りことができるか。 	○		○		<ul style="list-style-type: none"> a：地層や地質時代に興味や関心を持ち、またそれらから環境に関しても考えようとする態度を身につけている。 c：地層の調査に関する器具をきちんと取り扱うことが出来、実習で得られる様々な現象を見逃さない観察力を見につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・提出物 ・定期考査 ・小テスト ・提出物
5月	地球・生命・環境の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・地殻の変化 ・生命の進化 ・長期の気候変動 	<ul style="list-style-type: none"> ・変成岩の出来方について理解できるか。 ・地球の歴史の概観について理解できるか。 ・何故地球上に生命が誕生して、進化したかを理解できるか。 ・長期的な気候変動により生命の進化にどのような変化を生じさせたか理解できるか。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a：岩や化石に興味や関心を持ち、またそれらから環境に関しても考えようとする態度を身につけている。 b：岩や化石に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見だし、解決を目指し思考を深め、適切に判断し、工夫する能力を見につける。 d：身の回りにある岩や化石に関する知識を総合的に見につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に向かう姿勢 ・内容に関する関心 ・提出物の状況 ・自己評価 ・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・提出物 ・定期考査 ・小テスト ・提出物
6月	私たちの日本列島	<ul style="list-style-type: none"> ・島弧としての日本列島 ・日本列島の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島の生い立ちについて理解できたか。 ・実習に真面目に取り組んでいるか。・レポートを丁寧に仕上げているか 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> b：日本列島に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見だし、解決を目指し思考を深め、適切に判断し、工夫する能力を見につける。 c：地質の調査に関する器具をきちんと取り扱うことが出来、実習で得られる様々な現象を見逃さない観察力を見につけている。 d：身の回りにある地層に関する知識を総合的に見につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・提出物 ・実習器具などの取り扱い ・グループワークの取り組み ・実習結果のまとめのプリント ・定期考査 ・小テスト ・提出物

7月	大気 の 構造	<ul style="list-style-type: none"> ・大気圏 ・雨と雪 ・地球のエネルギー収支 	<ul style="list-style-type: none"> ・実測に基づく大気圏内外での熱収支が計算できるか。地球内外で熱収支が保持、内部でのアンバランスが何をもたらすか理解できたか。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> b: 大気に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見だし、解決を目指し思考を深め、適切に判断し、工夫する能力を見につける。 c: 大気に関する器具をきちんと取り扱うことが出来、実習で得られる様々な現象を見逃さない観察力を見につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・提出物 ・実習器具などの取り扱い ・グループワークの取り組み ・実習結果のまとめのプリント
8月	大気 の 運動	<ul style="list-style-type: none"> ・風 ・大気の大循環と世界の気象 ・偏西風帯に位置する日本の四季 	<ul style="list-style-type: none"> ・地上風・地衡風および、地上・上空のH・Lのまわりの力の釣り合いと風の吹き方が理解できたか。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> b: 風に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見だし、解決を目指し思考を深め、適切に判断し、工夫する能力を見につける。 d: 身の回りにある風に関する知識を総合的に見につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・定期考査 ・小テスト ・提出物
9月	海洋と海水の運動 地球環境 ・気候変動と	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋 ・海水の運動 ・気候変動 ・物質の循環 ・人間の活動と地球環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋の循環と熱輸送との関わり。海水の運動の原因とその形態が理解できたか。 ・エルニーニョをはじめとして異常気象や地球温暖化についてそのメカニズムが理解できたか。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> b: 海洋に関する与えられた課題をこなすだけでなく、自ら課題を見だし、解決を目指し思考を深め、適切に判断し、工夫する能力を見につける。 d: 身の回りにある海洋に関する知識を総合的に見につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習 ・学習取り組みレポート ・定期考査 ・小テスト ・提出物

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c: 観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。